資料２

市政だより平成 26 年４月号に掲載

▲市政だより４月号と一緒に全世帯に配布したほか、市有施設などでも設置しています

原子力災害時はこう動く！

原子力防災ガイドブックを発行

原子力災害時の基本的な行動や安全対策の取り組みをまとめたガイドブックを作成しました。

「まずは屋内退避」「風向きなどを考慮し、特定区域のみ避難」など、いざというときの行動を分かりやすく掲載。福島第一原発事故の教訓や「市町村による原子力安全対策に関する研究会」の成果、昨年実施した原子力防災訓練の経験、市民のみなさんの声を反映しました。

また、26年度は普及・啓発用のＤＶＤを作成。自主防災会などへの貸し出しやコミュニティセンターなどへ配布し活用してもらう予定です。

市町村による研究会（代表幹事　長岡市長）▶▶▶▶▶▶▶▶▶

２月20日、県内全市町村による「第10回市町村による原子力安全対策に関する研究会」で、県が示した「広域避難の行動指針(案)」の方向性について了承しました。今後も国、県などと検討を進め、安全対策にしっかり取り組んでいきます。

問原子力安全対策室☎39・2305

市政だより平成 26 年６月号に掲載予定

原子力安全対策の動き

他県の原発立地自治体と意見交換

県内全三十市町村でつくる「市町村による原子力安全対策に関する研究会（代表幹事・長岡市長）」の実務担当者が、四月二十二日・二十三日に福井県敦賀市と石川県を訪問し、原発の安全確保や屋内退避・避難計画の取り組み状況などについて意見交換を行いました。

今後も研究会では、安全対策の検討を進めていきます。

安定ヨウ素剤は保健所に配備

県が安定ヨウ素剤の未調達だったことに、市は県へ早急な対策を講じるよう要望。五月十六日までに長岡市を含む原発から五㎞～三十㎞圏の住民の一回分が配備されました。

市では引き続き実効性のある対策を図るよう県へ要望していきます。